

TAD

TAD-C2000
PREAMPLIFIER

OWNER'S MANUAL

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

| | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。</p> <p>内容をよく理解してから本文をお読みください。</p> | <p> 警告</p> <p>この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p> | <p> 注意</p> <p>この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

絵表示の例



△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告



異常が発生したときは、すぐに使用をやめる

- 音が出ない、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするときには、電源プラグを抜く
- 本機を落としたり、内部に水や異物が入ったりしたときは、電源プラグを抜く

そのままお使いになると、火災・感電の原因となります。電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



風呂場・シャワー室など水滴のかかる場所では使用しない

火災・感電の原因となります。



本機をぬらさない

火災・感電の原因となります。



本機の上に水などの液体の入った容器を置かない

本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。本機の上に水などの液体がこぼれたり、液体が中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。



本機の上に火のついたローソクなど裸火を置かない

火災の原因となります。



表示された電源電圧（交流 100 V、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところに置くと、倒れたり落下したりしてけがの原因となります。



通風を妨げない

本機の内部に熱がこもり、火災・感電の原因となります。また、次のような使い方をしないでください。

- あお向け、横倒し、逆さまにする
- 押し入れなど、風通しの悪い狭い場所に押し込む
- じゅうたんやふとんの上に置く
- テーブルクロスなどをかける



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となります。



電源プラグや電源コードを破損しない

電源プラグや電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。破損して、火災・感電の原因となります。また、電源プラグや電源コードの修理は、販売店にご依頼ください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。また、緩んだコンセントは使用しないでください。



電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をする

湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、乾いた布で拭いてください。



カバーを外したり、改造したりしない

本機の内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、本機には触れない

感電の原因となります。

⚠ 注意



油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

調理台や加湿器などのそばに置くと、油煙・火災・感電の原因となることがあります。



直射日光が当たるところなど、温度が異常に高くなる場所に放置しない

火災・感電の原因となることがあります。



本機を他の機器と接続するときは電源を切る

本機をオーディオ機器、スピーカーなどに接続するときは、それぞれの取扱説明書をよく読み、電源を切ってから接続してください。また、接続するときは指定されたケーブルを使用してください。



本機の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きさのものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。



本機の上に乗らない

倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。



付属の電源コードは本機の専用部品です

付属の電源コードは、本機のみで使用することを目的とした専用部品です。他の機器では使用できません。本機では、付属の電源コード以外、使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、本来の性能が出なかったり、電流容量の不足で発熱したりして、火災・感電の原因となることがあります。



長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

本機の使用環境温度範囲は5℃～35℃、使用環境湿度は85%以下です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_Ja

もくじ

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| 安全上のご注意 | 2 |
| はじめに | 5 |
| 主な特長..... | 5 |
| お使いになる前に | 6 |
| 付属品の確認..... | 6 |
| リモコンに電池を入れる..... | 6 |
| 各部の名称とはたらき..... | 7 |
| リモコン..... | 9 |
| 設置と接続 | 10 |
| 設置..... | 10 |
| 接続..... | 11 |
| 入力機器との接続..... | 11 |
| 出力機器との接続(基本接続)..... | 11 |
| 出力機器との接続(バイアンプ接続)..... | 12 |
| 電源コードの接続..... | 13 |
| 操作 | 14 |
| 入力を切り替える..... | 14 |
| 音量を調節する..... | 14 |
| 設定を切り替える..... | 14 |
| USB 接続について..... | 15 |
| USB 2 (Audio Class 2.0)モードについて..... | 15 |
| RESET ボタンについて..... | 15 |
| 演奏するには | 16 |
| 電源を入れる前に..... | 16 |
| 操作方法..... | 16 |
| 故障かな?と思ったら | 17 |
| 仕様 | 18 |
| 保証とアフターサービス | 19 |
| 本機のお手入れ..... | 20 |

所有する喜びと誇り、聴く喜びと感動のために

「TAD」という名称は「Technical Audio Devices」の頭文字から命名されました。これは、1975年にパイオニア（株）において最高級スピーカー開発プロジェクトの発足時、技術顧問として参画し、当時 USA プロオーディオ界の第 1 人者であった故バート・ロカンシーの「基本に忠実な技術こそ本物の技術であり、技術志向に傾くことなく、常に音質を最重視する技術こそ本物の技術である」という理念に基づく、「綿密な理論検討と正確な実験に裏付けられた工学的アプローチ」の手法を表現したものです。

自らのスピーカー理論を実践するための新境地を見出したバート・ロカンシーと、その思想と哲学を受け継ぐエンジニアたちの、決して妥協を許さぬ技術への探究心が、「TAD」という存在そのものなのです。

この「TAD」の意思を受け継ぎ、TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC. は設立されました。

私達は、当社の持つ最高の技術で皆様へ聴く喜びと感動を提供していきたいと考えています。

主な特長

TAD-C2000 は、デジタル入力 3 系統とアナログ入力 4 系統を持つ、最新のテクノロジーを搭載した新しい時代のプリアンプです。

1. 高音質 DAC に UPCG^{*1} を搭載

マスタークロックに TAD-D600 で開発した超高 C/N^{*2} マスタークロック UPCG を搭載。D/A コンバーターにパーブラウン PCM1794A を左右に各 1 個使用し、並列型バランス出力回路を構成することで、正確性と高 S/N を達成しています。さらに、サンプリングレートコンバーターを搭載。超高 C/N マスタークロック UPCG でリクロックを行うことで、サンプリング周波数 32 kHz ~ 192 kHz まで対応する D/A コンバーター回路は入力された PCM 信号の再現性を極限まで高めています。

- * 1 Ultra high Precision Crystal Generator
- * 2 搬送波対雑音比 (Carrier to Noise ratio)

2. アシンクロナス USB 音楽伝送方式を採用

デジタル入力 3 系統のうち 1 系統に USB 入力 (USB 2.0 ハイスピード対応) を配し、USB オーディオ伝送規格の USB Audio Class 2.0 に対応しています。これにより、広く一般に配布されている音楽プレーヤーソフトを利用して 192 kHz^{*3} までの高音質オーディオソースの音楽再生が可能です。

本機は独自開発によるアシンクロナス USB 転送エンジンを搭載し、送られてくる音楽データの転送制御を行います。また、送られてきたデータを本機内の純度の高いクロックで読み出すことにより、高音質化をはかっています。

- * 3 USB の対応サンプリング周波数は、お使いのパソコンの OS によって異なります。

3. 対称性の追求 Duallogic-Circuit Technology

オーディオ信号を正確に伝送するためには、正負の音楽信号に対して回路が完全に対称であることが重要です。アナログ回路は入力から出力までフルバランス増幅方式を採用し、L/R のオーディオ回路は同じ基板ユニットを左右に配置するなど、回路方式の対称性と L/R の同一性を追求しました。

4. 振動制御技術

強大なアルミブロックから切削加工で生み出されるシルバーの上部ケースはシャーシとしての役割を果たしており、音質を左右する各パーツはこのケースに取り付けられています。質量が大きく接合部のないシャーシ部は外部からの振動に強いだけでなく、電氣的に安定したアース電位を得られることでより安定した音質を生み出しています。また、3 点支持インシュレーターには、減衰特性に優れたねずみ銑鉄素材を使用。さらに、各インシュレーターと下部ケースとの間は、スパイクと同じ 3 点での点接触構造とすることで、より安定した再生に貢献しています。

5. 高精度操作、高音質に寄与する専用部品

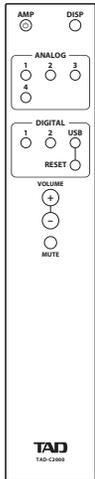
ファンクション切替操作とボリューム操作部の軸受け部には、高精度ベアリングを利用した新たな構造を開発することにより、ガタツキを皆無にし、高精度な操作感を生み出しています。高精度ボリューム回路部には新たに開発した高精度抵抗ラダー型ボリュームを採用し、低歪率 (ボリューム回路部 0.0005 %以下)・高精度ボリューム制御 (1/0.5 ステップ切替方式) を実現しています。また、左右独立配置とすることで、安定した音像定位と音場を実現、さらにフルバランス構成のボリューム回路は、あらゆるボリューム位置において正負対称性をもち、低音量時においても躍動感のある再生を可能にしています。

お使いになる前に

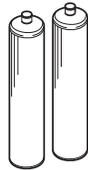
付属品の確認

アクセサリボックスの中に、次のものが入っていることを確認してください。

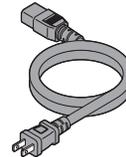
● リモコン × 1



● 単 4 形乾電池 (IEC R03) × 2

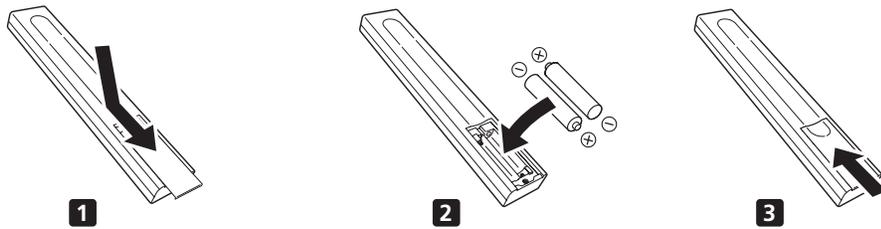


● 電源コード



- オーナースクラブ登録カード × 1
- 個人情報保護シール × 1
- 保証書 × 1
- 取扱説明書 (本書)

リモコンに電池を入れる



リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

警告

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストープの前など、高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

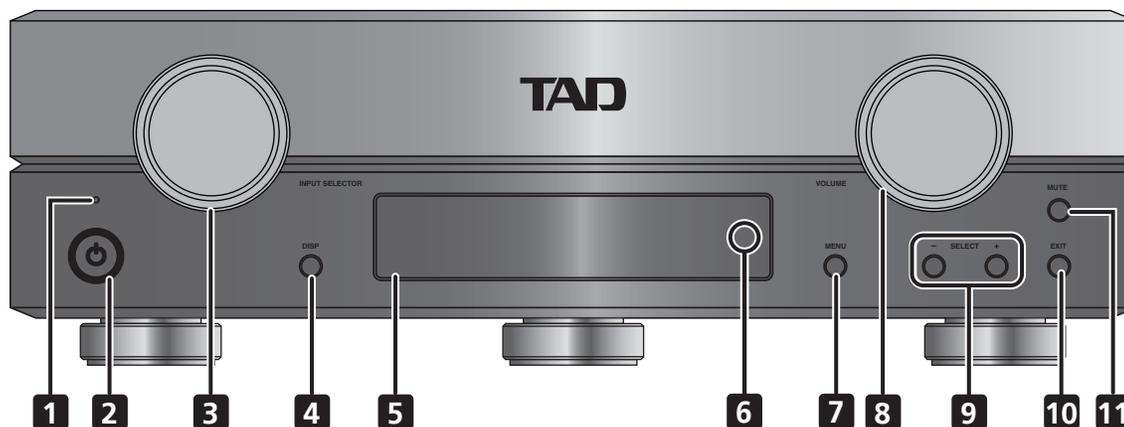
注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂したりする危険性があります。次の点について特にご注意ください。

- 新しい電池と古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池のプラスとマイナスの向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 電池は単 4 型マンガン乾電池 (R03) または単 4 型アルカリ乾電池 (LR03) を使用してください。
- 長い間 (1 カ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

各部の名称とはたらき

前面部



1 電源インジケータ

電源 (POWER) の状態が表示されます。
黄色点灯：オン (動作可能状態)
赤色点灯：スタンバイ (待機状態)

2 電源スイッチ

電源 (POWER) のオン/スタンバイを切り替えます。

3 INPUT SELECTOR (入力切替つまみ)

入力を切り替えます。

4 DISP ボタン

LCD ディスプレイの点灯/消灯を切り替えます。

5 LCD ディスプレイ (表示窓)

本機の入力状態や音量の状態が表示されます。

6 リモコン受光部

リモコンを約 7 m 以内の距離からここに向けて操作します。

7 MENU ボタン

設定メニューを切り替えます。

8 VOLUME (音量調節つまみ)

本機の音量を調節します。
右に回すと音量を上げ、左に回すと音量を下げます。

9 SELECT (+/-) ボタン

各種設定を行うときに押します。

10 EXIT ボタン

各種設定を決定するときに押します。

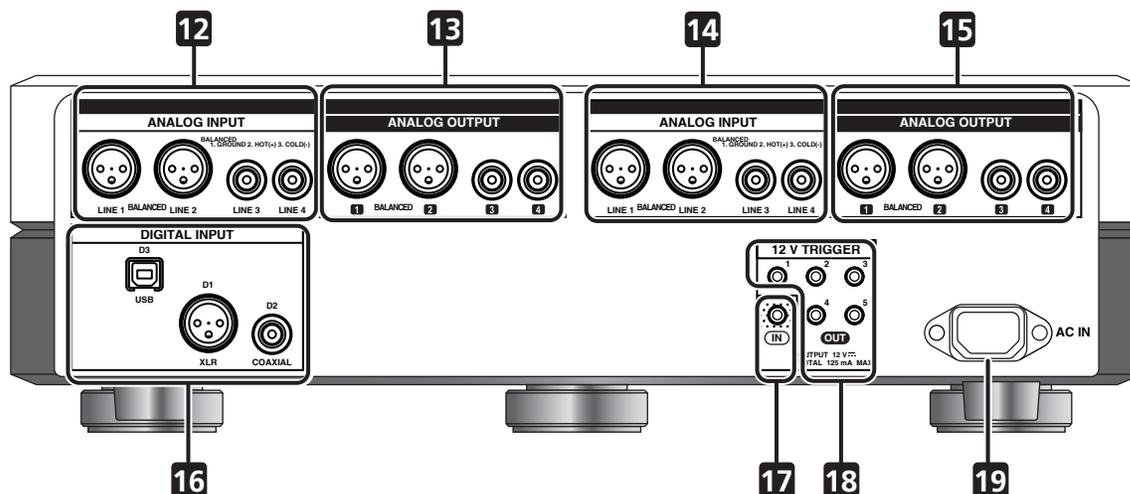
11 MUTE ボタン

再生中の音楽を消音します。

⚠ 注意

電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ (遮断装置) を抜く必要があります。本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くようにしてください。

背面部



12 アナログ入力 R 端子

接続する機器の端子のタイプにあわせて、バランス (XLR-3-31) またはアンバランス (RCA ピンジャック) を選択できます。

13 アナログ出力 R 端子

接続するパワーアンプの端子のタイプにあわせて、バランス (XLR-3-32) またはアンバランス (RCA ピンジャック) を選択できます。

14 アナログ入力 L 端子

接続する機器の端子のタイプにあわせて、バランス (XLR-3-31) またはアンバランス (RCA ピンジャック) を選択できます。

15 アナログ出力 L 端子

接続するパワーアンプの端子のタイプにあわせて、バランス (XLR-3-32) またはアンバランス (RCA ピンジャック) を選択できます。

16 デジタル入力端子

接続する機器の端子のタイプにあわせて、USB、COAXIAL、XLR を選択できます。

17 12 V トリガー入力端子

12 V トリガー端子がある外部機器と接続すると、本機の電源オン/スタンバイを外部機器から切り替えることができます。

端子：φ 3.5 モノラルミニジャック

動作仕様：スタンバイ中に入力される信号の電圧レベルが L から H になった場合 電源オン
電源オン中に入力される信号の電圧レベルが H から L になった場合 スタンバイ
12 V トリガー入力に H が入力されているときは、本機の電源スイッチで本機をスタンバイにすることができません。

18 12 V トリガー出力端子

12 V トリガー端子がある外部機器と接続すると、本機の電源をオン/スタンバイに切り替えることにより、外部機器の電源オン/スタンバイを切り替えることができます。

端子：φ 3.5 モノラルミニジャック

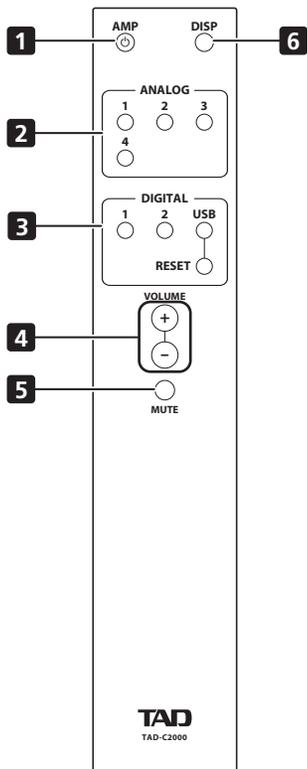
動作仕様：本機の電源オン時は H、スタンバイ時は L が出力されます。

他の 12 V トリガー入力端子を持つ機器と連動して、5 端子合計最大 125 mA まで出力できますが、125 mA を超えると出力できなくなります。過大な電流を流さないようにしてください。

19 AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

リモコン



1 AMP のボタン

本機の電源（POWER）をオン/スタンバイに切り替えます。

2 ANALOG ボタン

入力をアナログに切り替えます。

- 1：LINE1 に切り替えます。
- 2：LINE2 に切り替えます。
- 3：LINE3 に切り替えます。
- 4：LINE4 に切り替えます。

3 DIGITAL ボタン

入力をデジタルに切り替えます。

- 1：D1:XLR に切り替えます。
- 2：D2:COAX に切り替えます。
- USB：D3:USB に切り替えます。本機とパソコンを USB ケーブルで接続するときには押します。
- RESET：本機とパソコンが USB ケーブルで接続されている場合、音楽再生がうまく行われていないときに押します。

4 VOLUME (+ / -) ボタン

+を押すと音量を上げ、-を押すと音量を下げます。

5 MUTE ボタン

再生中の音楽を消音します。

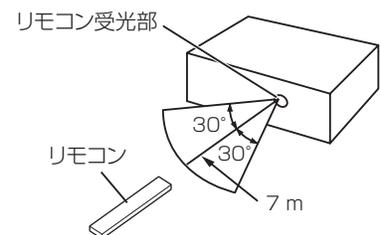
6 DISP ボタン

本体 LCD ディスプレイの点灯/消灯を切り替えます。

リモコンの操作範囲

本機をリモコンで操作するときは、図の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。

- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪かったりするとリモコン操作ができないことがあります。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、機器によっては誤動作することがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作ができないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離したりしてください。

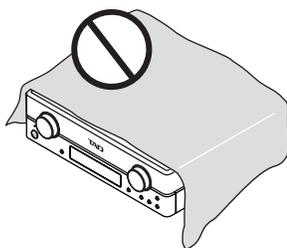


設置と接続

設置

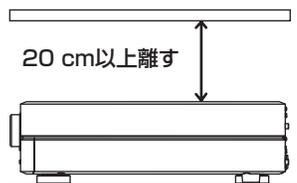
⚠ 警告

- 本機を設置する場所は、本機の重量に十分耐えられる強度を持つ、安定した水平・平面な場所をお選びください。倒れるなどして、事故の原因になります。弊社では、床に設置することをお勧めします。棚などの上に置く場合は、必ず強度の確認を行ってください。
- 放熱のため、本機の上にものを置いたり、布やシートなどをかぶせたりした状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。
- 本製品の設置は3本の大きな足で行っております。またそのほかに補足的に2つの小さな足があります。この補助足は急激な加重がかかった際に、製品が直接床にぶつかることを防ぐ役割をして、通常は床には接していません。



⚠ 注意

本機を設置する場合は、放熱をよくするために、本機の天面から20 cm以上、背面から20 cm以上、側面から20 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

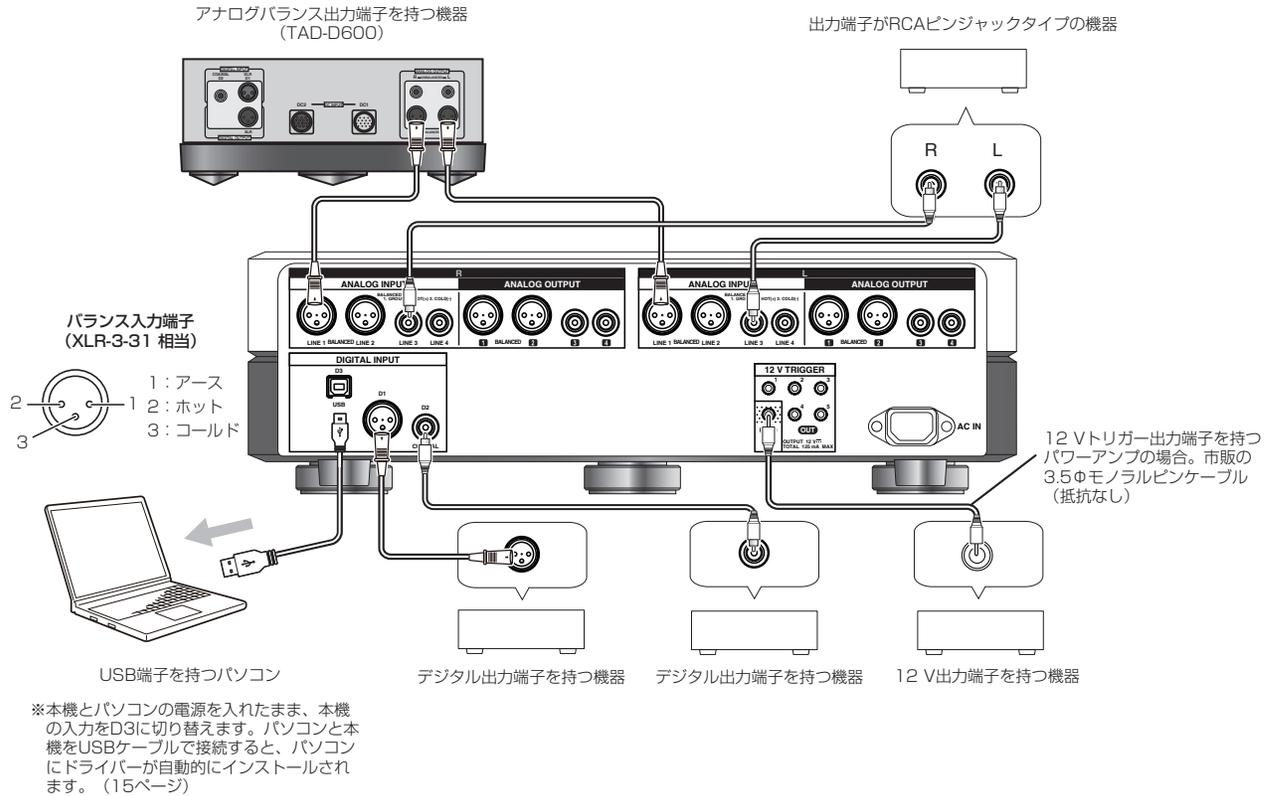


⚠ 注意

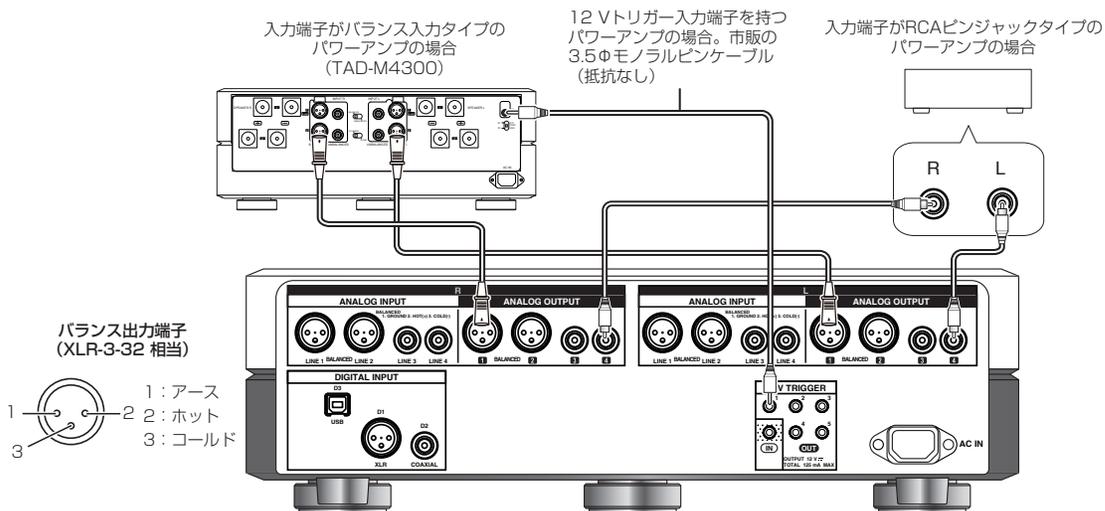
- 本機をじゅうたんやクッションなど、冷却用の空気の流れを妨げる柔らかなものの上に置いたり、狭い場所に置いたりしないでください。

接続

入力機器との接続



出力機器との接続 (基本接続)

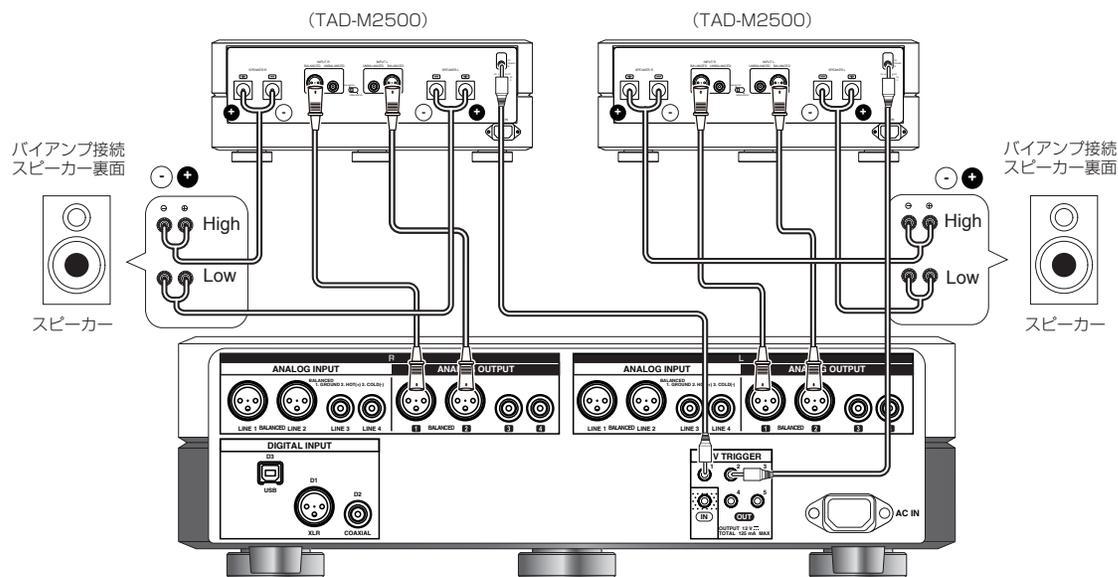


出力機器との接続（バイアンプ接続）

バイアンプ接続は、2組のアンプとスピーカーコードを使って、スピーカーの低音用入力端子 (Low) および高音用入力端子 (High) に接続する方法です。

メモ

- バランス (XLR-3-32) 接続をする場合は、出力端子 1 または 2 をお使いください。
- アンバランス (RCA ピンジャック) 接続をする場合は、出力端子 3 または 4 をお使いください。
- 複数のパワーアンプをお使いになるときは、4 系統を持つパワーアンプ、2 台の同一のステレオパワーアンプ、4 台の同一のモノラルパワーアンプをお使いください。
- パワーアンプには、L と R チャンネルで同一のアンプをお使いください。
- 高音、低音のアンプの利得が異なると、高音、低音のバランスの適正値が得られなくなります。



注意

- 接続およびスイッチの切り替えが終わるまで、本機および各コンポーネントの電源スイッチをオンにしないでください。
- 同じチャンネルのアナログ出力端子 1 と 2、3 と 4 からは、同じ音量が出力されます。
- スピーカーをバイアンプ接続するときは、アンプへの悪影響を防ぐため、スピーカーに付属されている Hi-Low のショート金具を必ずはずしてください。詳しくは、スピーカーの取扱説明書をご覧ください。
- XLR 入出力端子には、XLR ケーブル以外を接続しないでください。

電源コードの接続

すべての接続が終了したら、電源コードを家庭用電源コンセント（AC 100 V）に接続します。

本機の電源コードは極性管理されています。音質向上のため、極性をあわせることをお勧めします。下図のように電源プラグのNマークのある側を電源コンセントの幅の広い方（アース側）にあわせて差し込んでください。

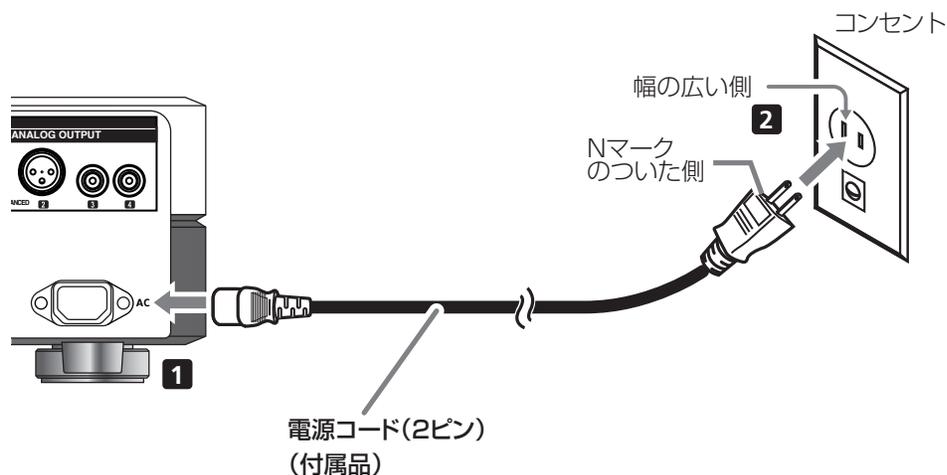


- 本機の電源コードは着脱式になっていますが、付属しているコード（電流容量 15 A、本機側 2P プラグインソケット方式）以外の電源コードはご使用にならないでください。

- 電源プラグをコンセントに接続すると、電源インジケータが赤色に点灯します。電源スイッチをオンにすると本機の電源が入ります。
- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- 電源プラグを抜くときは、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。

電源コードの接続方法

1. 付属の電源コードを本機の AC IN 端子に接続する。
2. 壁のコンセント（AC 100 V）に接続する。



操作

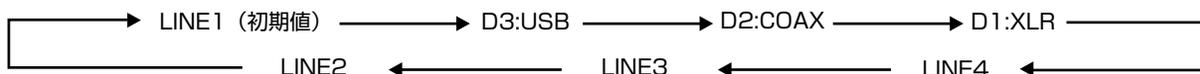
入力を切り替える

INPUT SELECTOR（入力切替つまみ）を回すと、次のように入力を切り替えます。

- 右に回した場合



- 左に回した場合



メモ

- 電源オフ/スタンバイから電源オンにすると、電源オフ/スタンバイになる前の入力に戻ります。
- 電源プラグを抜き差ししたあと電源を入れると、LINE1（初期値）に戻ります。

音量を調節する

VOLUME（音量調節つまみ）を回すと、音量を調節できます。右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。SELECT（+/-）ボタンを押すと、ボリューム制御モードを切り替えます。

- +ボタン

ボリューム制御モードを FINE モードに切り替えます。FINE モードにすると、ボリュームを 0.5 ステップごとに調節します。

- -ボタン

ボリューム制御モードを NORMAL モードに切り替えます。NORMAL モードにすると、ボリュームを 1 ステップごとに調節します。

設定を切り替える

MENU ボタンを押すと、本機の設定を切り替えます。MENU ボタンを押す回数により、設定を 1～4 に切り替えます。設定は、SELECT（+/-）ボタンで選択してから、EXIT ボタンを押して決定します。

1. LCD ディスプレイ（表示窓）のボリューム表示

LCD ディスプレイの音量設定を、LEVEL 表示（初期設定）または dB 表示（入出力比）に切り替えます。

2. L-R バランス設定

+ボタンを押すと L チャンネルのレベルが下がり、R チャンネル側に音像が移動します。-ボタンを押すと R チャンネルのレベルが下がり、L チャンネルに音像が移動します。初期値は L/R ともに 0 に設定されています。

3. 入力レベル設定

本機に音量の小さい機器を接続したとき、音量の大きい入力機器との音量差をあわせるため、入力ごとに入力レベルを設定します。0 dB ~ +20 dB まで設定できます。

4. オートパワーダウンモード

本機を使用していないときに、自動的にスタンバイに移行します。+ボタンを押すとオンに、-ボタンを押すとオフに設定できます。オンに設定されているときは、3 時間以上ボリューム調節操作やキー入力操作がないと、スタンバイに移行します。工場出荷時には、オフに設定されています。

5. ALL RESET

本機のスタンバイ中に MUTE ボタンを押しながら MENU ボタンを 5 秒間押すと、設定が工場出荷状態に戻ります。

USB 接続について

本機とパソコンを USB ケーブルで接続すると、パソコン内蔵サウンドで再生可能なソフトウェアにより、本機で音楽を再生できます。

1. 本体の INPUT SELECTOR またはリモコンの USB ボタンを使って、本機を D3:USB に設定します。
2. パソコンの電源を入れます。
3. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続すると、パソコンにドライバーが自動的にインストールされます。

メモ

- D3:USB は、USB AUDIO CLASS1.0 に対応しています。
- サンプリング周波数は 44.1 Hz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz に対応しています。
- USB 2.0 ハイスピードに対応しています。
- Windows 7 (32 Bit)、Windows Vista、Windows XP、Mac OS 10.6、Mac OS 10.5 で動作を確認しています。それ以外の OS およびバージョンでは動作を確認していません。
- 24 bit/96 kHz、24 bit/88.2 kHz など、高サンプリングレートの音楽を再生するには、パソコン側のソフトウェアの設定が必要になることがあります。詳しくは、再生ソフトウェアの仕様をご確認ください。

USB 2 (Audio Class 2.0) モードについて

上記の初期設定モードに加え、サンプリング周波数 176.4 kHz、192 kHz に対応した USB 2 (Audio Class 2.0) モードがお使いになります。

メモ

- Windows 7、Windows Vista、Mac OS 10.6 以降で動作を確認しています。
 - Mac OS 10.6 をお使いの場合、本機と USB で接続するとドライバーがパソコンに自動的にインストールされます。
1. Windows 7、Windows Vista をお使いの場合、TAD の Web サイト (<http://tad-labs.com>) よりドライバーをダウンロードして、パソコンにインストールします。ドライバーのインストール方法については、TAD の Web サイトをご覧ください。
 2. 本機のスタンバイ中に、本体の MUTE ボタンと MENU ボタンを同時に押しながら、電源スイッチを押します。
 3. パソコンの電源を入れます。
 4. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続した状態で、本機の入力を D3 に切り替えます。
本機の LCD ディスプレイに「D3:USB2」と表示されます。Mac OS 10.6 をお使いの場合は、ドライバーがパソコンに自動的にインストールされます。
 5. 本モードを解除するには、本機のスタンバイ中に、本体の MUTE ボタンと MENU ボタンを同時に押しながら、電源スイッチを押します。ALL RESET (14 ページ) の操作を行うことにより、解除することもできます。

注意

- 本機のドライバーがインストールされていない Windows 搭載パソコンをお使いの場合、また Mac OS 10.5 など、本モードに非対応の OS をお使いの場合、本モードにしてパソコンと本機を接続しないでください。パソコンがフリーズすることがあります。

RESET ボタンについて

本機とパソコンを接続して音楽を再生中、パソコンの状態により、まれに音が出なくなることがあります。パソコンの USB ケーブルを抜き差しして本機を再認識させるか、リモコンの RESET ボタンを押してください。

注意

- 音楽が正常に再生されているときに RESET ボタンを押すと、音楽の再生が一時中断されます。再生に問題があるときのみ、RESET ボタンを押してください。間違えて押してしまった場合、パソコンで再生中の音楽が停止することがあります。その場合、再生ソフトウェアをもう一度立ち上げるか、パソコンの再起動が必要になることがあります。

演奏するには

電源を入れる前に

入力端子や出力端子が確実に接続されていることを確認してください。

操作方法

1. 本機の電源スイッチをオンにする。
2. 本機の VOLUME を最小の位置にする。
3. パワーアンプの電源スイッチをオンにする。
本機の VOLUME で、音量を調整します。
4. 演奏を終えるときは、本機の VOLUME を最小にし、パワーアンプと本機の電源スイッチをオフにする。



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら次のことを調べてみてください。意外なミスが故障と思われがちです。また、本機以外が原因の場合も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器も、あわせてお調べください。パソコンの設定については、TADのWebサイト (<http://tad-labs.com>) をご覧ください。次の項目を調べても症状が直らない場合は、修理をご依頼ください。

| 症 状 | 原因と思われること | 処 置 |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 入力をあわせても音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 入力端子の接続が正しくない。 ● 消音（ミュート）状態（MUTING が点滅）になっている。 ● 音量が下がっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 接続を再確認する。 ● 本体またはリモコンの MUTE ボタンを押して、消音を解除する。 ● 音量を調整する。 |
| 無入力でもノイズが聞こえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源そのものにノイズが残っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ● パソコンなどのデジタル機器とタコ足配線になっていないか確認する。 |
| デジタル入力の音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● デジタル接続が正しくない。 ● デジタル出力レベル調整機能がついている CD プレーヤーなどのデジタル出力レベル設定が低すぎる。 ● 再生ソフトウェアのデジタルフォーマットに対応していない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● デジタル接続を確認する。 ● プレーヤーのデジタル出力設定を適切に修正する。 ● 出力機器が PCM 以外の音声信号（ドルビーデジタル、DTS など）に設定されているときは、PCM に設定を変更する。 |
| USB 入力の音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● パソコンの設定で他の機器が選択されている。パソコンの設定が消音になっている。 ● 接続が正しくない。パソコン側で本機が検出されない。 ● ファイル形式、OS、ソフトウェアが対応していない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● パソコンのサウンド設定を確認する。 ● 接続を確認する。リモコンの RESET ボタンを押して、本機をパソコンに再認識させる。 ● 対応 OS、ソフトウェア、ファイルのサンプリング周波数を確認する。（15 ページ） |
| USB 入力のサンプリング周波数が常に同じである。 | <ul style="list-style-type: none"> ● パソコン側の設定によっては、再生ファイルのサンプリング周波数が異なっても、常に同じになる。 | <ul style="list-style-type: none"> ● パソコンの設定を確認する。 |
| USB 入力から、音楽以外のパソコンの音が聞こえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ● パソコンの設定によっては、パソコンの起動音やエラー音などが本機から再生される。 | <ul style="list-style-type: none"> ● パソコンの設定を確認する。 |
| USB 入力以外のとき、パソコンのソフトウェアの音楽が再生されない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● USB 入力以外のとき、本機の USB 回路の電源はオフになっているため、パソコン側から本機は認識されない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● USB 入力に切り替える。 |
| リモコンの RESET ボタンを押すと音楽がとぎれる。また、再生ソフトウェアが止まる。 | <ul style="list-style-type: none"> ● RESET ボタンを押すと、本機とパソコンとの通信が一時切断される。そのためパソコンのソフトウェアでの音楽再生が中断したり、止まったりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 再生中に RESET ボタンを押さない。 |
| 電源が切れない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 12 V トリガー入力端子の信号が H である。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 12 V トリガー出力機器側で電源を切る。 |
| 電源が自動的に切れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ● オートパワーダウン機能がオンになっていると、3 時間以上本機の操作がない場合に電源が切れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ● オートパワーダウン機能をオフにする。（14 ページ） |
| ディスプレイ表示が見えない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 表示認識エリアは左右 45° 以内である。 ● 消灯（ディスプレイオフ）になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 正面から見る。 ● DISP ボタンを押して消灯を解除する。 |
| リモコンが操作できない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの電池が消耗している。距離が離れすぎている。角度が悪い。途中で信号をさえぎるものがある。蛍光灯などの強い光がリモコン信号受光部に当たっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 電池を交換する。7 m 以内、左右 30° 以内で操作する。障害物を取り除くか、操作する場所を移動する。リモコン受光部に光が直接当たらないようにする。 |

仕様

■アンプ部

入力端子

| | |
|------------|------------------------------------|
| アナログ | バランス× 2、アンバランス× 2 |
| デジタル | バランス× 1、アンバランス× 1、USB (標準 B 型) × 1 |

出力端子

| | |
|------------|-------------------|
| アナログ | バランス× 2、アンバランス× 2 |
|------------|-------------------|

定格出力電圧 バランス 1.5 V、アンバランス 0.75 V

最大出力電圧 バランス 16 Vrms、アンバランス 8 Vrms

定格歪率 T.H.D. 0.003 %

IHF SN 120 dB

周波数特性 10 Hz ~ 100 kHz - 1 dB

利得 12 dB

アナログ最大許容入力電圧(- 40 dB) バランス 20 V、アンバランス 10 V

対応サンプリング周波数(XLR/RCA) 44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz

対応サンプリング周波数(USB)
44.1 kHz^{*1*2}、48 kHz^{*1*2}、88.2 kHz^{*1*2}、96 kHz^{*1*2}、176.4 kHz^{*2}、192 kHz^{*2}

*1 Windows XP 以降、Mac OS 10.5 以降

*2 Windows 7、Windows Vista、Mac OS 10.6 以降

USB 動作環境

| | |
|--------------|----------------|
| USB 端子 | USB 2.0 ハイスピード |
|--------------|----------------|

■電源部・その他

電源電圧 AC100 V、50 Hz /60 Hz

消費電力 37 W (待機時消費電力 0.5 W 以下)

外形寸法(幅 × 高さ × 奥行) 440 mm × 140 mm × 393 mm (最大外形寸法)

質量 23.5 kg

■付属品

リモコン 1

単 4 形乾電池(IEC RO3) 2

電源コード

オーナーズクラブ登録カード 1

個人情報保護シール 1

保証書 1

取扱説明書(本書)

上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

- Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows XP は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本書では、次のような略称を使用しています。
Microsoft Windows 7 operating system : Windows 7
Microsoft Windows Vista operating system : Windows Vista
Microsoft Windows XP operating system : Windows XP
- Apple、Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで、大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。また、ご転居されたり、ご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、パイオニア修理受付窓口にご相談ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな？と思ったら」（17 ページ）の項目をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご依頼ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所：
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：プリアンプ
- 型番：TAD-C2000
- お買い上げ日：
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく具体的に）：
- 訪問ご希望日：
- ご自宅までの道順と目標（建物や公園など付近の目印）：

■保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本製品は家庭用オーディオ機器（オーディオ・ビデオ機器）です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

1. 一般家庭用以外での使用（例：店舗などにおけるBGMを目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
2. 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
3. ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けたり、音が歪むような大音量では使用しないでください。
4. スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

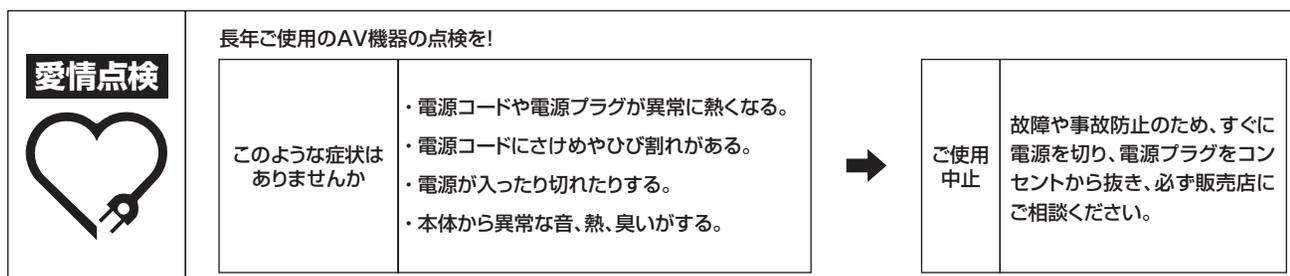
S26_Ja

本機を末永くご愛用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光のあたるところ
- 湿気の多いところや風通しの悪いところ
- 極端に暑いところや寒いところ
- 振動のあるところ
- ホコリやタバコの煙の多いところ
- 油煙、蒸気、熱があたるところ（台所など）

本機のお手入れ

本機の清掃は、お手持ちのポリシングクロスでから拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を5～6倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ったあと、汚れを拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品を用いるとパネルの表面が侵されることがありますので使用しないでください。またスプレー式の殺虫剤などを本機の近くでは使用しないでください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。



商品についてのご相談窓口

- 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

パイオニアカスタマーサポートセンター TAD相談窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
(土曜・日曜・祝日・パイオニアカスタマーサポートセンター休業日は除く)

電話  0120-995-823

ファックス 044-572-8103

修理についてのご相談窓口

修理をご依頼される場合は、取扱説明書をご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

- お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

パイオニア修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00
(日曜・祝日・パイオニア修理受付窓口休業日は除く)

電話  0120-5-81028 ※ 携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。

一般電話 044-572-8100 ※ 携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ファックス  0120-5-81029

部品のご購入についてのご相談窓口

- 部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

パイオニア部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00
(日曜・祝日・パイオニア部品受注センター休業日は除く)

電話  0120-5-81095 ※ 携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。

一般電話 044-572-8107 ※ 携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ファックス  0120-5-81096

インターネットホームページ

本書以外に下記ホームページもご覧ください。

<http://tad-labs.com/support/>

TAD

TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.

© 2010 株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ
禁無断転載

JIS C 61000-3-2適合品 D50-5-10-1_A_Ja

株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ
〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-15-3
<http://tad-labs.com>